



平成19年8月31日

各 位 殿

件名：欧州向けスペース逼迫、BOOKINGが困難に

現在ヨーロッパ向けのコンテナ船のスペースが逼迫し、BOOKINGが大変取りにくくなっています。
また、10月の海上運賃の値上げ交渉結果によっては更なるスペースの縮小も予想される状況です。

背景にあるのは、日本以外のアジア各国からの欧州向け貨物の急増。前年比2割近くと、各船社の予想を上回るペースで伸びており、特に「世界の工場」中国発の貨物はその内の60%以上と圧倒的なトップを占めています。

この状況下、日本以外のアジア各国発の貨物に対しては既に大幅な「運賃修復」が実施されています。
今年1月には、20フィートコンテナあたり200ドル（40フィートコンテナあたり400ドル）、4月にも同じく同200ドル（同400ドル）。7月には同450ドル（同900ドル）の運賃修復が提示され、ほぼ満額で決着。さらにピークシーズンサーチャージ、20フィートコンテナあたり135ドルの適用も開始され、日本発の貨物との運賃格差が一気に拡大しました。

最も運賃水準の高い中国南部発の貨物と、日本発の貨物との運賃差は、40フィートコンテナでは1本当たり実に1,000ドルにまで拡大しているとのこと。当然のごとく各船社は中国貨物を優先して日本貨物の優先順位を引き下げる動きとなっており、なかなかBOOKINGが入らないという状況を招いています。

日本発の貨物については、半年契約の荷主の運賃更改時期である10月に、船社側は20'コンテナあたり200ドルの値上げを予定、なんとか日本貨物のスペースを現状維持したいとしています。満額決着しない場合、アジア各国との運賃格差が拡大する場合はさらなる日本貨物の割り当てスペースの縮小もありえるわけで、当分の間欧州向けのBOOKINGについては要注意の状況が続きそうです。

各荷主様におかれましては、特に欧州向け輸出に関しまして、極力早目のBOOKING御手配、御指示を頂きますようお願い申し上げます。

株式会社 共同フレイターズ(通関業、国際複合輸送業)

営業部 : TEL : 03-5418-6371 / FAX : 03-5418-6377

カスタマーサービス部 : TEL : 03-5418-6372 ~ 3 / FAX : 03-5418-6380

横浜支店 : TEL : 045-211-2001 / FAX : 045-211-2000

URL : <http://www.kau.co.jp>